

1. 試験実施内容

◎大学入試センター試験科目の成績利用方法については 44 ページを参照。

グローバル教養学部

アドミッション・ポリシー【求める学生像】

立命館大学グローバル教養学部では、建学の精神の「自由と清新」及び教育理念の「平和と民主主義」のもとで、人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を日本全国および世界各地から求める。このため、入学に際して以下の素養と資質、学力、関心などを有することを求める。

- 1 知識・理解
高等学校などにおける教育を通じて、人文学および社会諸科学の幅広い教養を学ぶ上で必要な学力および英語力を有していること
- 2 思考・判断
学知の基礎となる論理的および批判的思考力を持ち、グローバル社会における倫理的判断力を持っていること
- 3 関心・意欲・態度
・人間社会への多様性、グローバルな視点から俯瞰した歴史、科学・技術の進歩と社会の変容に関心を持っていること
・様々な境界を越えて、他者と協働し、リーダーシップを持って、問題発見・問題解決を目指す意欲・態度を持っていること
- 4 技能・表現
情報を適切に収集・分析する能力や自らの考えを明確に表現し、議論する能力を持っていること

グローバル教養学部では、上記能力を有する学生を選抜するために、書類審査、エッセイ、面接などによる多面的な評価尺度から志願者個別に対して総合的評価（Holistic Assessment）を実施する。

募集方法・募集人数

学部一括で募集します。

学 科	一般入試 募集人数 (合計)	「センター試験+面接」方式
グローバル教養学科	2名	2名

4年間の学びの特長

全ての授業を英語で学ぶ(日本語科目を除く)

全ての授業を英語で開講し、海外でも認められる国際通用性の高い教育を提供します。英語による知識の修得と知的生産の実践を繰り返すことによって、卒業後にグローバルな舞台で活躍するための力を養います。

グローバル化した世界にふさわしい教養(リベラル・アーツ)を総合的に学ぶ

従来のリベラル・アーツが前提としてきた世界認識や歴史認識を、より広く、より深い文脈で再定義し、現代社会のさまざまな課題に対して実践的・創造的に問題解決する力を養います。“Essentials of Global Liberal Arts”で論理的・批判的思考力、倫理的判断力や研究技法・方法論を学び、“Cosmopolitan Studies”, “Civilization Studies”, “Innovation Studies”の3つの科目群すべてをバランスよく学び、最終的に“Capstone Studies”において、これらの学びを実践的・応用的に統合させます。

- Essentials of Global Liberal Arts：人類の知的遺産をグローバルな視点で捉え、グローバル教養学の基礎となる技法・方法論、研究倫理、コミュニケーションの基礎を学びます。
- Cosmopolitan Studies：文化研究・地域研究を軸に、社会の多様性を理解し、さまざまな境界を超えて問題発見・問題解決に導く能力を修得します。
- Civilization Studies：歴史研究・社会理論を軸に、国際社会の多元性と普遍性を理解し、人類にとっての新しい課題を浮き彫りにする力を修得します。
- Innovation Studies：経営理論、科学・技術論を軸に、新しい知識と価値を生み出し、国際社会で実践できる知的能力と行動力を修得します。
- Capstone Studies：3つの科目群を横断・統合し、立命館大学とオーストラリア国立大学（ANU）の学修をふまえて、研究・製作をおこないます。

オーストラリア国立大学 (ANU) とのデュアル・ディグリー・プログラムで学ぶ

4月入学の場合、1、2、4年目は大阪いばらきキャンパス（OIC）で、3年目はANUで授業を受けます。2年目と4年目は、本学部とANUの授業が半々で開講され、ANUの教員による授業をOICで受講することができます（なお、本学で9月から学修をスタートする場合は、履修の流れが異なります）。両大学の所定の条件ならびに単位をクリアすると、本学部の学士（グローバル教養学）に加えて、ANUからの学士（アジア太平洋学）を取得することができます。

入学時期毎の学修の流れ(4月入学の場合)

1st year	Semester 1	日本(立命館大学)に滞在、立命館大学の授業を受講 Essentials of Global Liberal Arts
	Semester 2	
2nd year	Semester 3	日本(立命館大学)に滞在、立命館大学とANU の授業を受講 Cosmopolitan Studies・Civilization Studies・Innovation Studies・Japanese Studies Cluster・Introductory courses in Asia Pacific Affairs
	Semester 4	
3rd year	Semester 5	オーストラリア (ANU) に滞在、ANU の授業を受講 History and Cultural Identity・Politics and Government・International Relations and Security・Conflict and Peace-Building
	Semester 6	
4th year	Semester 7	日本(立命館大学)に滞在、立命館大学とANU の授業を受講 Capstone Studies・Cosmopolitan Studies・Civilization Studies・Innovation Studies 3つの科目群を横断・統合し、2つの大学での学修をふまえて、研究・製作を行う。
	Semester 8	

2月実施 本学独自試験

「センター試験+面接」方式 試験日:2月9日(土) 合格発表日時:2月18日(月) 13時

下表にて指定するセンター試験科目の合計得点が462点(得点率77%)以上であることが合格の必要条件です。面接(英語)の得点のみで可否を判定します。

出願条件:以下の①~⑤のいずれかを出願時点で取得しており、証明書によってそのスコアを証明できる者(2018年10月1日立命館大学入学試験委員会議決)

- ①IELTS(Academic Module) :Overall Band Score6.0以上(各コンポーネント5.5以上)
- ②TOEFL®PBTテスト :550点以上(TWE®テスト4.0以上)
- ③TOEFL iBT®テスト :68点以上(Writingセクション18点以上)
- ④Cambridge C1 Advanced(CAE) :Overall Score169点以上(各サブスキル162点以上)
- ⑤PTEアカデミック :Overall Score57以上(各コミュニケーションスキル50以上)

*TOEFL ITP®テストは対象となりません。

*各試験の成績評価は、出願開始日よりさかのぼって2年以内に受験したものを有効とします。

*中等教育課程を英語で履修した場合等で、別途定めている基準を満たす者は、英語外部資格試験の証明書の提出が不要になる場合があります。最新の詳細は、以下のURLを確認してください。

https://policies.anu.edu.au/ppl/document/ANUP_000408

下表の注意事項 【注】『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目』は1科目と見なします。

センター試験受験教科・科目		配 点	→	本学独自試験
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	高得点 3科目 を採用		合計 600点 (各200点)
国 語	「国語」(近代以降の文章のみ)			
数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」			
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」			
地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」			
理 科	『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」【注】			

*面接の集合時刻は本学が指定し、受験票送付時に通知します。

【面接試験について】

75ページの「グローバル教養学部『センター試験+面接』方式 志望理由書」に必要事項を記入し、面接試験日に持参してください。面接試験は英語による個人面接です。面接では「志望理由書」の内容等に関する質疑応答を行います。

【面接試験 評価のポイント】

- ・グローバル教養学部で学ぶ意欲と関心
- ・他者と積極的に協働する学修態度
- ・的確な表現でコミュニケーションを行う能力
- ・自分の考えを明確に表現し、対話の中で適切に意志を伝える能力

出願にあたっての留意点

ANUの課程を学ぶためには、1回生配当科目32単位分の履修終了時に、「イングリッシュ・ハードル」（2018年10月時点の基準でTOEFL iBT®テスト80点以上等、今後変更される可能性があります）を満たし、かつ「アカデミック・ハードル」としてANUのGPA換算で4.000以上（本学でいうC以上の評価）という条件を満たす必要があります。なお、「アカデミック・ハードル」は、繰り返しチャレンジできるものではなく、1回生配当科目32単位分の履修終了時の一回限りの判定となります。これらの基準に達しない場合は、デュアル・ディグリー・プログラムにおける履修を継続することは認められず、立命館大学が提供する科目のみからなるシングル・ディグリー・トラックにおいて、以降の学びを完成させることになります。